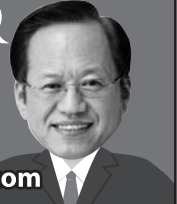


今江まさひこ

ご意見をお寄せください

事務所 〒523-0837
近江八幡市大杉町30番地1
TEL (0748)36-5788
FAX (0748)36-5794
http://www.m-imaee.com



「夢や希望に満ちた豊かさ実感・滋賀」の実現に向けて

委員会報告

「環境・農水常任委員会報告」

平成28年度から5年間にわたって実施する「滋賀県農業・水産業基本計画」が可決され、また、滋賀県農業に対する深刻な影響が懸念されるTPPに関わる対応方針が策定されました。特Aの認定を受けた「みずかがみ」などの環境こだわり米や6次産業化のさらなる推進、そして農畜水産物の輸出促進などにより競争力の強い強い滋賀の農業・水産業の確立を求めました。

「地方創生対策特別委員会報告」

滋賀県の地場産業や地場産品、そして近江の地酒を振興するため、2件の条例案を当局や関係団体、そして県民の皆さんのご意見を伺いながら策定しました。本会議における賛成討論では純米吟醸酒「権座」を活用して地域の活性化や農業の振興などに取り組んでおられる白王町の「権座・水郷を守る会」の活動を紹介させていただきました。

「夢や希望に満ちた豊かさ実感・滋賀」を実現するための平成28年度当初予算が2月定例会議において成立しました。今後、昨年10月に策定されました「人口減少を見据えた豊かな滋賀づくり総合戦略」をエンジンとして「子どもの生きる力を育み、若者や女性が輝く社会の実現」をはじめとする基本構想・7つの重点政策が推進されます。

減少とわかってはいますが、引き続き歳入・歳出両面にわたって財政健全化に取り組む必要があります。

当初步算の総額は一般会計で5446億円（昨年比で60億円の増額）という積極予算であり、「新しい豊かさ」を創造していく三日月県政の果敢な挑戦を大いに評価しているところです。主な増額要因としては子育て関連施策、介護保険給付費や後期高齢者医療給付費の県費負担金、新しく生まれ変わる学習船「うみのこ」の建造事業費などがあげられます。

一方、県債発行額（いわゆる県の借金）は地方税等の増加もあり、3年連続の



今江まさひこのプロフィール

1954年6月29日生まれ（満61歳）
県立彦根東高等学校、同志社大学法学部卒業後、近江八幡市職員となり。議会事務局次長、秘書広報課長を歴任。2007年4月滋賀県議会議員に初当選。（現在3期目）この間、総務・政策常任委員長、防災・エネルギー対策特別委員長、関西広域連合議会議員などを歴任。

平成28年2月

定例会本会議から

「公契約のあり方と労働環境の整備について」

公契約である公共工事請負や業務委託請負などにおける低価格入札は現場で働く人の労働条件の悪化、建設事業者の廃業や建設労働者の失業、また、非正規雇用の増加などをもたらし、公共サービス提供にも多大な影響を及ぼします。

こうしたことを防ぐために千葉県野田市をはじめ多くの自治体で公契約条例が制定され、自治体発注の業務に従事する労働者の適正な労働条件を確保するため、支払われるべき賃金の最低額などが規定されています。

労働者派遣法の改正などにより労働法制が大きく後退する中で、働く環境は悪化し、地域経済に対しても悪影響を及ぼしています。賃金上昇による消費拡大がなければいくら公共投資をしても国民総生産を押し上げることはできません。

住民サービスの向上や働くことを軸とした安心社会の実現、そして、建設労働者や介護現場・保育現場などで働く人たちの処遇改善をするなど、社会全体の底上げ、底支えが必要であり、そのためにも滋賀県における公契約条例制定を強く求めました。

これに対し、三日月知事は関係者による検討会を発足し、今後前向きに取り組むという趣旨の答弁をされました。こうした取り組みが全国に広がることにより、多発するバス事故など劣悪な労働条件に起因する重大事故の発生を防止できるものと考えます。

林久美子 参議院議員と「待機児童解消」や「無戸籍者支援」などの県政課題について意見交換をしました。



「保育所落ちた、日本死ぬ！」という匿名のブログに多くの共感する意見が寄せられ、国会でも待機児童の問題が大きく取り上げられました。こうした子ども子育ての支援制度に長く取り組んでこられた林久美子参議院議員と意見交換をさせていただきました。滋賀県でも保育所の整備は順次進められていますが、保育の担い手の確保や潜在する保育人材を活用するためには保育士の処遇改善が急務となっています。文部科学大臣政務官として、また自らの子育ての経験を活かしながら子ども子育て支援新制度に深く関わってこられた林久美子参議院議員の今後の活動に大いに期待するとともに、しっかり連携しながら私も滋賀県における待機児童解消に取り組んで参ります。

また、林久美子参議院議員は超党派で「無戸籍問題を考える議員連盟」を設立され、無戸籍問題の全国一斉調査などの対策を推進されています。その貴重なご提言を受け、滋賀県では全国に先駆けて新年度の新規事業として「無戸籍者支援事業」がスタートし、様々な不利益を受けている無戸籍者に対する相談窓口などが設置されます。

すべての人に居場所と出番のある社会の実現のため、これからも林久美子参議院議員としっかり連携して県政課題に取り組んでいきます。